

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	黒川青少年野外活動センター	評価対象年度	令和7年度
事業者名	・事業者名 特定非営利活動法人 国際自然大学校 ・代表者名 理事長 佐藤 初雄 ・所在地 東京都狛江市岩戸北4-17-11	評価者	青少年支援室長
指定期間	令和6年4月1日 ～ 令和11年3月31日	所管課	こども未来局青少年支援室

2. 事業実績

利用実績	①年間延べ利用者数 18,712人 (令和6年度:19,464人)	②年間延べ利用団体数 617団体 (令和6年度:646団体)
収支実績	1 収入 単位:円 指定管理料 34,295,000 主催事業収入 4,562,900 雑収入 8,048 補填金 0 その他収入 4,833,186 合 計 43,699,134 2 支出 人件費・賃金 21,180,371 光熱水費 1,924,931 委託費 2,842,000 消耗品費 2,587,744 修繕費 33,000 報償費 1,387,336 その他 4,345,769 本部繰入額 5,524,193 合 計 39,825,344 3 差引 3,873,790	
サービス向上の取組	ホームページやSNS(Instagram・Facebook・note等)を活用した継続的な情報発信に加え、地域イベントへの出展や学校への出張授業を実施するなど、施設の認知度向上と利用促進に積極的に取り組んだ。また、新規事業として「パパママ自然体験」「花火フェスタデイ」「夏の染め物体験」等を実施するとともに、応募多数事業については追加開催を行うなど、利用者ニーズに応じた柔軟な事業運営を行った。さらに、アンケートや問い合わせフォーム等を通じて利用者意見を把握し、貸出備品の充実や事業内容の改善に反映するなど、利用者満足度の向上に努めた。	

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
利用者満足度	事業推進	施設の目的に合った事業が実施されているか	5	4	4
		計画どおり事業が実施されているか			
	事業成果	事業成果として利用者数に増加傾向がみられるか	5	2	2
	(評価の理由) ・平日利用者の拡大を目的とした新規事業「パパママ自然体験」を実施し、定員を大幅に上回る応募があるなど好評を得た。また、コロナ禍で中止していた「流しそうめん体験」の再開や、「花火フェスタデイ」「夏の染め物体験」など新たな主催事業を実施したほか、小学校高学年向けの継続事業「黒川冒険クラブ」を計画どおり実施した。さらに、王禅寺ふるさと公園や黒川駅前イベントへの出店、片平小学校での出張授業など、市域への野外活動の普及にも取り組んでおり、計画事業の着実な実施に加え、特色ある取組みが認められた。 ・利用者数は、学校団体の日帰り利用は前年度比約64%増、市主催事業も前年度比約50%増となったほか、新規事業「パパママ自然体験」や「四季のデイキャンプ」では定員を大きく超える応募があり、利用ニーズの掘り起こしにつながった。しかしながら、日帰り12,899人、宿泊5,813人、合計18,712人となり、前年度比で752人減少し、年間利用者数は事業計画目標(31,000人)には達しなかった。 ・収支状況確認シート及び収支報告書が適切に作成されており、収入・支出の差異についても各費目ごとに要因分析が行われている。また、本部繰入金についても按分根拠を明示した内訳資料を作成しており、会計処理の透明性確保に努めている。指定管理料、事業収入及び各種支出の管理は適切に実施されており、年度を通じて大きな会計上の問題は認められなかった。				

収支計画・実績	適切な金銭管理・会計手続	適切な会計処理がされているか	5	3	3
	効率的・効果的な支出	計画に基づく適切な収入が確保されているか	10	4	8
		計画に基づく適切な支出がなされているか			
		支出に見合う効果が得られているか			
		効率的な執行等、経費削減の具体的な取組がなされているか			
	(評価の理由) ・収支状況確認シート及び収支報告書が適切に作成されており、収入・支出の差異についても各費目ごとに要因分析が行われている。また、本部繰入金についても按分根拠を明示した内訳資料を作成しており、会計処理の透明性確保に努めている。指定管理料、事業収入及び各種支出の管理は適切に実施されており、年度を通じて大きな会計上の問題は認められなかった。 ・主催事業参加費収入は計画を上回り、自主事業収入も指導依頼の増加により増収となった。一方で、人件費は職員給与の見直し等により予算を下回り、通信運搬費は発送物削減により抑制されるなど、経費節減に取り組んだ結果、収支差額は約387万円の黒字となった。また、主催事業では参加者増加に応じた支出を行いながら収入も確保しており、限られた経費の中で事業効果を高める工夫が認められる。				
サービス向上及び業務改善	施設・事業の広報	施設や事業が積極的に広報されているか	5	4	4
		広報の方法に工夫が見られるか			
	利用者への対応	利用者に対する接遇が適切にされているか	10	3	6
	学校及び行政機関との連携	事業実施に当たり学校や行政等と連携が図られているか	10	4	8
	利用者ニーズ	利用者ニーズの把握がされているか	10	4	8
		把握したニーズが事業運営へ反映されているか			
(評価の理由) ・ホームページやSNSを活用した継続的な情報発信に加え、王禅寺ふるさと公園や黒川駅前イベントへの出展、学校への出張授業などを通じて施設事業の周知を行った。また、 <u>新規事業や季節事業について積極的に広報を行い、一部事業では定員を上回る応募があるなど、利用促進につながる効果的な広報活動が認められる。SNSのフォロワーも昨年よりも増えており、インスタやnoteなどこまめに更新している。</u> ・利用者が安心して活動できるよう、乳幼児親子向け事業から小学生向け事業、成人向け講座まで幅広いニーズに応じたプログラムを提供した。また、応募多数となった事業については追加開催を行うなど柔軟な対応を実施し、参加機会の確保に努めた。利用者目線に立った良好な運営が行われている。 ・学校団体利用は前年度から増加しており、学校との連携による利用促進の成果が見られた。また、市内小学校への出張授業を実施するとともに、 <u>市内の緑地や地域イベントと連携した事業展開を行うなど、施設内にとどまらない普及啓発活動を実施した。</u> 地域や関係機関との協力体制の構築に積極的に取り組んでいる。 ・利用者ニーズを踏まえて「パパママ自然体験」「花火フェスタデイ」「流しそうめん」など新規又は再開事業を実施した。特に応募多数により追加開催した事業もあり、利用者の要望や参加状況を事業内容へ反映している。また、乳幼児親子や大人向け講座など対象を拡大した事業展開により、新たな利用層の開拓にも取り組んだ。利用者の声を事業改善やサービス向上につなげている点が評価できる。 <u>問い合わせフォームからのメールにて必要な対応返信を行っている。(貸出し備品の追加や、参加人数変更など)</u>					
組織管理体制	適正な人員配置	利用人員等を考慮し、事業実施に必要な人員が配置されているか	10	3	6
		事業の目的を考慮した適正な職員が採用されているか			
	職員の研修体制	職員のスキルアップを図るために必要な研修等が実施されているか	5	4	4
	個人情報等の取扱	個人情報保護の法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか	5	3	3
	(評価の理由) ・所長、事業主任、事業担当、総務担当及び清掃担当を適切に配置し、年間を通じて安定した運営体制を維持した。また、利用者対応や主催事業の実施に必要な人員を確保し、利用者数の増加や多数の事業実施に対応している。事業運営に支障となる人員不足は認められず、適正な人員配置がなされていた。 ・施設整備に必要な刈払機取扱講習やチェーンソー取扱講習、救急対応に関するメディックファーストエイド研修、食品衛生責任者実務講習会など、 <u>業務内容に応じた専門研修を実施した。</u> また、法人主催の「森のようちえん研修会」や全体研修会に参加し、自然体験活動の指導力向上や施設運営に関する知識・技能の習得に取り組んでいる。 <u>事業運営に直結する研修を計画的に実施しており、職員の資質向上に努めている。</u> ・個人情報保護に関する重大な事故や情報漏えいは発生しておらず、事業運営に必要な利用者情報について適切な管理が行われていた。また、「自然体験活動のセーフティーネット」研修を受講し、利用者保護やコンプライアンス意識の向上にも取り組んでいる。個人情報及び利用者情報は適正に管理されていたと認められる。				

適正な業務実施

施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	5	2	2
利用者の安全確保	利用者の安全確保のため、工夫がされているか	5	3	3
	事故等が発生した場合に適切な対応が行われているか			
防犯対策	施設の防犯のための工夫がされているか	5	3	3
	緊急時のマニュアル等が整備されているか			
災害への対応	避難訓練や消防訓練が適正に実施されているか	5	3	3
	災害発生時のマニュアル等が整備されているか			
(評価の理由) ・施設・設備について計画的な点検及び維持管理を実施したほか、給水タンクのボールタップ交換など必要な修繕を適切に実施した。また、ネイチャーボランティア活動等を通じた里山環境の保全や樹林管理にも継続的に取り組み、施設の機能維持と利用環境の向上に努めている。一方で、一部建築設備点検の実施漏れがあった。(実施済) ・自然体験活動に伴うリスクを踏まえ、職員がメディックファーストエイド研修やリスク管理に関する研修を受講し、安全管理能力の向上に努めた。また、活動内容に応じた保険加入や安全管理を実施し、年間を通じて重大事故の発生はなかった。自然体験施設として必要な安全対策が適切に講じられている。 ・施設管理業務を通じて利用者の安全確保に努めた。また、不法占拠や無断使用の確認を行うなど、施設管理者として必要な防犯上の確認を実施している。防犯対策は適切に行われており、管理運営上の問題は認められなかった。 ・消防設備点検の実施に加え、消火訓練、避難訓練及び通報訓練を計画どおり実施し、災害発生時に備えた対応体制を整備した。				

注) 配点×(評価段階／5)=評価点

4. 総合評価

評価点合計	67	評価ランク	C
-------	----	-------	---

注) 評価点:100点満点。評価ランク:5段階評価
A(80点以上):特に優れている、B(70点以上80点未満):優れている、
C(60点以上70点未満):適正である、D(50点以上60点未満):改善が必要である、
E(50点未満):問題があり適切な措置を講じる必要がある

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

事業計画に基づき適切な施設運営が行われており、新規利用者の獲得や利用者層の拡大に向けた特色ある主催事業を積極的に展開した。利用者数は目標値には達しなかったものの、学校団体の日帰り利用や市主催事業の利用増加が見られ、学校や地域との連携による利用促進の成果が認められる。また、広報活動の充実、利用者ニーズを反映した事業展開、安全管理体制の確保、里山環境の保全活動などにも継続的に取り組んでおり、青少年の自然体験活動を支える施設として適正かつ安定した管理運営が行われたと評価できる。
--

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

新規事業やSNS等を活用した広報活動により一定の成果が見られることから、引き続き利用者ニーズを踏まえた魅力ある事業の企画・実施に努められたい。特に、平日利用や宿泊利用の拡大に向け、市内小・中学校への働きかけや地域関係機関との連携を一層強化し、新規利用者の獲得と継続利用の促進を図られたい。また、施設設備の計画的な維持管理及び安全管理を継続するとともに、利用者の意見を運営改善に反映し、更なるサービス向上と利用者満足度の向上に取り組まれたい。
--